

川上ダム通信

2012

1
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

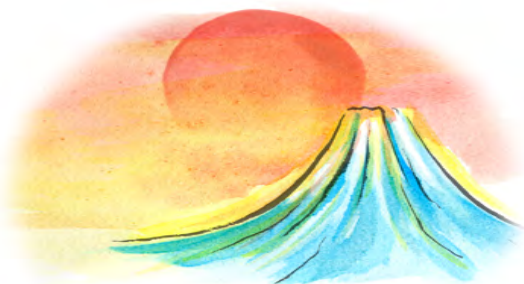
新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

平素から川上ダム建設事業につきまして
ご支援、ご協力を賜っておりますこと、
誠にありがたく感謝申し上げます。

一昨年の秋以降、全国のダム建設事業では
いわゆる「ダム検証」が進められてきており
ますが、現時点においても大多数のダムが
そのまっただ中にあります。川上ダム建設所
におきましても同様に、「ダム検証」のための
検討作業を近畿地整と連携して鋭意実施して
いるところです。できる限り早期に川上ダムの「ダム検証」を終えるべく職員一同頑張っ
ておりますので、皆様には何かとご心配、ご迷惑をおかけしておりますが、なにとぞご理解く
ださいようお願い申し上げます。

一方、生活再建のための付替県道工事につきましては、この間も粛々と進捗を図ってきて
おります。青山美杉線トンネル工事は今年夏頃までには完成する予定です。また、青山美杉
線貯水池横断橋工事は橋脚部分の工事が大部分できあがってまいりましたし、昨年12月か
らは橋桁の工事も始まりました。さらに、青山美杉線の残りの明かり工事を今年の早い段階
で発注するべく、現在準備を進めているところです。今年はこれらの工事を鋭意進捗させて
まいります。



これらの工事をはじめとする川上ダム建設
事業に関しまして、皆様方には何かとお世話
になるとは存じますが、どうぞこれからも引
き続き暖かいご支援、ご協力を賜りますよう、
よろしくようお願い申し上げます。

【所長 神矢弘】

県道青山美杉線付替工事の状況

① 青美線トンネル工事

トンネル工事は、先月から引き続き、内部コンクリート作業及びトンネル下流側の道路工事を行っています。内部コンクリート作業は、12月28日現在全長257mのうち167mまで完成いたしました。道路工事は、約2万m³の地山掘削作業のうち約11,000m³まで終了いたしました。



トンネル内の様子



トンネル下流側道路工事の様子

② 青美線貯水池横断橋工事

P1橋脚は、現在柱頭部の施工に取りかかっています。この柱頭部の施工が終了いたしますといよいよ、橋脚を中心として両サイドへ上部工(道路路面)の張出施工が始まります。

P2橋脚は、現在深礎杭の施工を終えP1を追いかけるように橋脚の施工を実施しており、12月28日現在5m/35mまで橋脚コンクリートが仕上がりました。



トンネル工事下流側より橋梁工事の全景を望む

③ 青美線第2工区(その5)工事

第2工区(その5)工事は、本線道路の施工と、掘削した地山を保護する法面工を並行しながら施工を進めています。

これら3件の工事関係車両は、県道松阪青山線等を通行いたします。地域の皆様には、引き続き、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

【工事課 森岡浩然】

技術研究発表会結果報告

平成23年11月15日～16日に水資源機構本社（埼玉県）において、「平成23年度（第45回）水資源機構技術研究発表会」が開催されました。関東・中部・関西・四国・九州の各ブロックから選出された30論文の発表があり、その中から理事長賞5論文と特別賞2論文が表彰されました。

川上ダム建設所からは「河川におけるオオサンショウウオ道の遡上試験～遡上している個体の撮影に成功～」(環境課 鷲尾) と



各発表に熱心に聞き入る聴講者

「ダムデザインの隠し味～訪問者の視線で考えるちょっとした工夫～」(調査設計課 金山)の2つの論文を発表しました。「河川における～」はオオサンショウウオの保全対策として河川の既存の井堰に設置した移動路(オオサンショウウオ道)の効果をまとめたものです。「ダムデザインの～」は、“黄金比”と呼ばれる、人間が直感的に美しいと感じる形状に着目し、ダムとその周辺の景観について、構造物の形状だけでなく訪問者の視点や動線の工夫により、美しい景観を生み出す方法を提案するものです。残念ながらどちらも表彰には至りませんでした。川上ダムの取り組みをアピールでき、他の事業の参考となったものと思います。これからも事業を通して得られた知見を広く発信するよう努めていきます。

表彰論文は水資源機構本社HP (<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/index.html>) で公開していますので是非ご覧ください。

【調査設計課 大谷知樹】

第16回 植物図鑑シリーズ 地元で見られる植物

今回は、スイランを紹介します。

スイランはキク科の植物で、原野の湿地や水辺に生育する高さ50cm～110cmの多年草です。花の色は黄色で、花の直径は3～3.5cm。開花時期は9～10月頃です。

細長い葉がシュンラン(春蘭)に似ており、湿地に生えることからスイラン(水蘭)という名前がついたといわれています。

日本における分布は、中部地方以西から九州です。

伊賀地方の希少動植物をまとめた『伊賀のレッドデータブック』において、準絶滅危惧(現時点での絶滅危険度は小さいが、生育条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位のランクに移行する要素を有するもの)に指定されています。



シュンラン(葉)



スイラン(葉)



スイラン生育状況



スイラン(花)

※ ○が葉の部分です

【環境課 笹原智弘】

ひなち湖紅葉マラソン

11月20日(日)、名張市にある比奈知ダムにおいて、「2011名張ひなち湖紅葉マラソン大会」が開催され、機構職員も参加しました。今年は、市内外から約500名の参加者を迎え、大変な賑わいとなりました。参加者の中には、北海道から来た人もいて、大会の知名度の高さに驚きました。また、最高齢ランナーとして、70歳代で10キロマラソンに参加した人もいました。

この大会は、小学生2キロの部、中学生3キロの部、一般5キロの部、一般10キロの部、ジョギング2キロの部と5種目が行われました。いずれの種目においても、ラストにダムを横断する長い直線(約300m)を走りきってゴールするというコース設定となっており、ダムの大きさを感じられる良い機会になったと思います。

大会名のとおり、紅葉がとても綺麗でしたが、走っている時には、その景色を楽しむ余裕はありませんでした。それでも、沿道やゴール付近の応援、地域の人々のご支援のもと、楽しく走りきることができました。当日は、風が強く気温も低かったので、競技終了後に配られた暖かい豚汁は、とてもおいしかったです。

【工事課 森岡浩然】



水資源機構の職員も走りました！



いよいよスタート…

イベントのお知らせ

初詣はお済みですか？

新年最初のイベントといえば初詣です。まだ新年のお参りを済まされていない方のために、川上ダム建設所最寄りの初詣スポットをご紹介します。

大村神社では、元旦から7日にかけて、新年のお参りをすることができます。

また、大村神社には、日本三大奇鐘の一つに数えられている「虫喰鐘(むしくいがね)」や、地震を呼ぶという巨大ナマズが暴れないように上から抑えていると伝えられる「要石(かなめいし)」など、歴史的な産物も勢揃いとのことです。

観光も兼ねて、初詣に出向かれてはいかがでしょうか。



虫喰鐘

編集後記

新年明けましておめでとうございます。この川上ダム通信ですが、2005年5月に発刊を開始して以来、今年で8年目を迎えました。この7年間で、発行部数は着々と増え、今では毎月約600部を近隣の皆様にお配りしております。

本年も引き続き、皆様に川上ダムに関する最新の情報を分かりやすくお伝えしていきますので、今後とも川上ダム通信をよろしくお願いたします。

【広報誌発行事務局】

編集長 神矢(所長)
デスク 大友(総務課長)
" 足達(工務課長)
記者 堀(総務課)
松高(第二用地課)
森岡(工事課)



ISO14001: 2004
JQA-EM576m

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇